

学年	高校1年	教科	公民	科目	公共	単位数	2
教科書名	公共（実教出版）			副教材名	2026 ズームアップ公共資料（実教出版）		
コース クラス	中高一貫クラス						

I. 目標

1. 民主主義の本質を理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について客観的な理解力、公正な判断力、良識ある公民として必要な態度を育てる。
2. 現代社会に存在する諸課題について主体的に考察し、解決策を探求する。
3. 3年次の基礎学力到達度テストをめざし、基礎的な実力を養う。

II. 授業のねらい

1. 世の中が直面している諸問題を扱い、自分たちの身近な問題として捉えさせ、日本の立場、解決策を考える。
2. 資料集を効果的に使い、最新のデータや図表を読み取る力を育成し、新しい入試に対応できるようにする。
3. 共通テストの難易度と出題傾向を意識し、過去問を用いる等、テストに対応できる学力を身につける。

III. 授業の進め方

1. 板書を使用した講義に加え、iPad や AppleTV 等の ICT 教材を有効に使うことで効率的に授業を進める。
2. 第2部 - 1 - 第2章「日本の政治機構と政治参加」以降に関しては、授業時数の関係で割愛するが、授業の進行に応じて扱うことがある。
3. 毎時間、時事問題に触れることで世の中の動きや情勢をつかみ、付随する知識も身につける。
4. 学期ごとに小テストを実施し、生徒の理解度を確認する。

IV. 学習上の留意点

1. 主体的に学習し、常に自分の考えを持てるようにすること。
2. 単に専門用語の暗記のみならず、歴史的・政治的な背景についても理解すること。
3. 板書をノートに取るだけでなく、口頭での説明を細かくメモし多くの知識を身につけること。

V. 定期試験

- 1学期 期末試験 : 倫理分野 第1部 公共の扉 第1章「社会をつくる私たち」第2章「人間としてよく生きる」
- 2学期 中間試験 : 倫理分野・政治分野 第1部 第3章「他者とともに生きる」第4章「民主社会の倫理」
- 2学期 期末試験 : 政治分野 第5章「民主国家における基本原理」
- 第2部 よりよい社会の形成に参加する私たち
- 1 現代の民主政治と日本国憲法 第1章「日本国憲法の基本的性格」
- 3学期 学年末試験 : 政治分野 第1章「日本国憲法の基本的性格（2学期の続き）」

VI. 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 提出物などの総合評価

VII. 授業計画

学期	月	単元	試験等	学習目標
一学期	4	第1部 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 1 青年期とは 2 自己形成の課題 (1) 3 自己形成の課題 (2) 4 職業生活と社会参加 5 伝統・文化と私たち	小テスト	自己を確立していくために、青年期の意義と課題について考察する。また、心身の成長に伴って様々な欲求と葛藤を抱き、その経験が自己形成につながっていくということを理解する。 働くことの意義を多角的に考え、将来の進路選択を的確にできるようにする。
	5			
	6			
一学期	7	第2章 人間としてよく生きる 1 古代ギリシャの人間観 2 科学と人間 3 自由の実現 4 社会を作る人間	小テスト 期末試験	哲学者の思想を手掛かりとして、人間としての自覚を深め、生きる意義を考え、望ましい人間関係を構築できるようにする。単なる用語の暗記にとどまらず、どのように社会生活を送っていくべきかということを考える。
	9	第3章 他者とともに生きる 1 人間と幸福 2 公正な社会をめざして	小テスト 中間試験	幸福、公正、正義、自由とはどういう状態をいうのかを、哲学者それぞれの考え方の違いに留意しながら理解する。 人間の尊厳と平等が、現代社会の中でどのように扱われ、問題となっているのか、現状認識だけではなく改善策についても考察する。自由の対には責任が、権利の対には義務があるということをきちんと理解する。 政治とは何か、政治の役割は何かを知ることから、民主政治の重要性を理解する。民主政治は歴史的に、いつ、どこで、どのように成立したのかについて、用語の暗記と共に学習する。その上で、現在、世界にはどのような政治制度があるのか、特徴を知り課題についても考察する。
	10	第4章 民主社会の倫理 1 人間の尊厳と平等 2 自由・権利と責任・義務		
11	第5章 民主国家における基本原理 1 民主政治の成立 2 民主政治の基本原理 3 民主政治のしくみと課題 4 世界の主な政治制度			
一学期	12	第2部 よりよい社会の形成に参加する私たち 1 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 日本国憲法の基本的性格 1 日本国憲法の成立 2 日本国憲法の基本的性格	小テスト 期末試験	日本国憲法の成立過程及び基本的性格（三大原則）について、大日本帝国憲法との比較を通して理解する。
	1	3 自由に生きる権利 4 平等に生きる権利 5 社会権と参政権・請求権 6 新しい人権 7 人権の広がり と 公共の福祉	小テスト 学年末試験	人権保障の各規定と権利の制限について学習し、今日における日本国憲法の意義を知る。その中で、権利の濫用とならないよう、公共の福祉の重要性についても考察する。
2				
3				

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更することがある。